

第2回広陵町の地域公共交通に関する 住民ワークショップ結果とりまとめ



広陵町企画部総合政策課

第2回ワークショップの概要

日時	令和4年8月27日（土） 13:00-15:30
場所	広陵町役場 3階 大会議室
参加者	町民の皆さん：10名 事務局（企画部総合政策課）：4名 オブザーバー（奈良交通株式会社）：2名 オブザーバー（近畿運輸支局奈良支局）：1名 委託先（株式会社クニエ）：3名
目的	町民のバスを利用した移動における課題を踏まえつつ、町で考えている市町村有償旅客運送案について説明を行い、町民の受容性や問題意識等についてワークショップ方式で把握すること
テーマ	持続可能な広陵元気号の利用について考えよう その2
検討事項	①デマンド交通の先進事例を通じた理解促進と評価（良い点、悪い点）の把握 ②①を踏まえ、町で考えている市町村有償旅客運送案に対してやったらよいと思うことの把握 ③前回の整理及び②のまとめを踏まえて、実現化に向けた具体策や課題についての把握

第2回ワークショップのスケジュールと内容

時間	内容
13:00～	開会あいさつ・出席者の紹介
13:10～	奈良交通が取り組む県内交通と最近の課題
13:25～	公共交通の課題と解決に向けた考え方の説明
13:30～	ワークショップの進め方の説明
13:35～	グループワーク①②
14:05～	休憩
14:10～	グループワーク③
14:35～	各班の発表
14:56～	事務局からの連絡
15:00	閉会

グループワーク概要

◆ テーマ

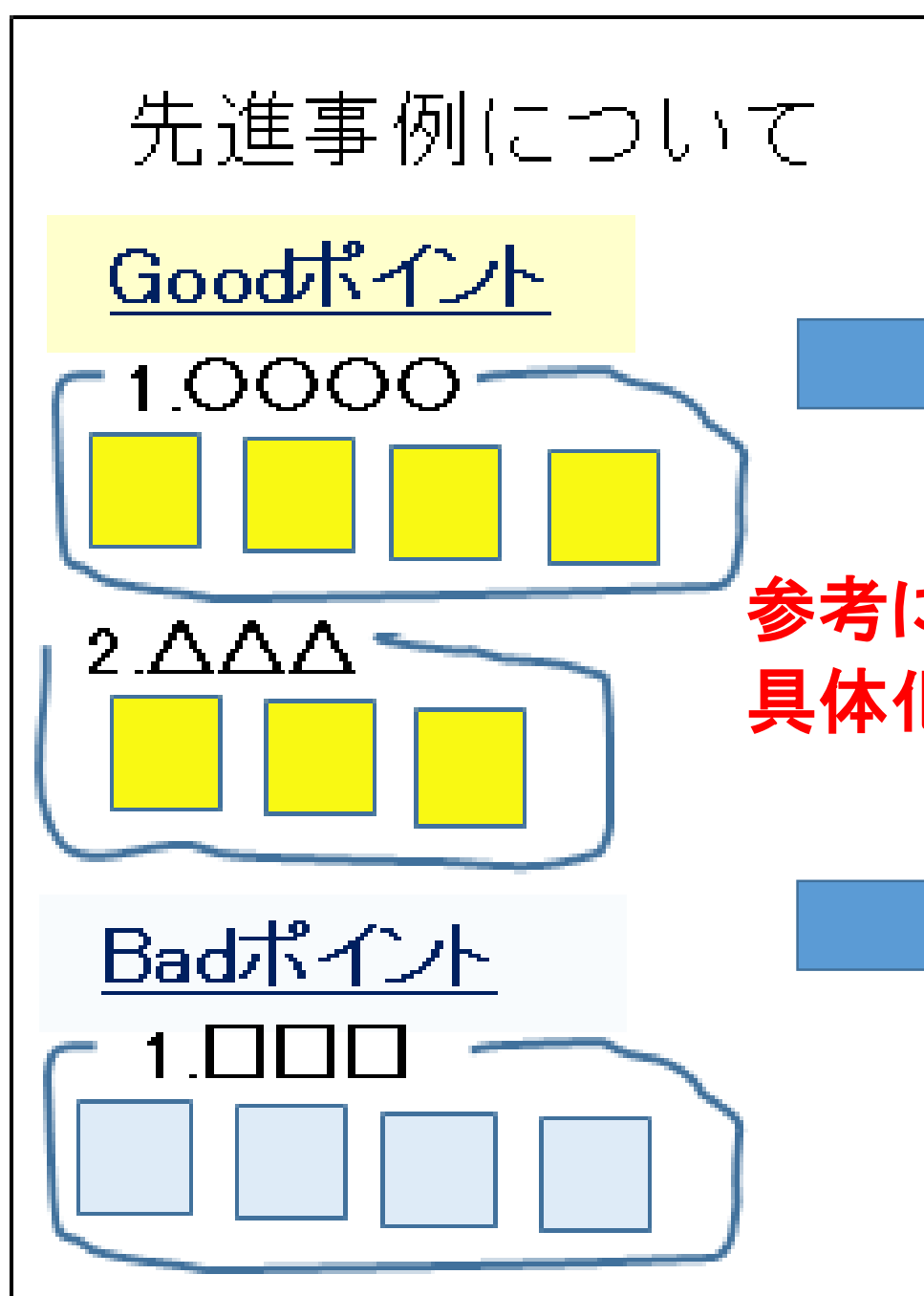
- ワーク①：デマンド交通の先進事例を通じた理解促進と評価（良い点、悪い点）の把握
- ワーク②：①を踏まえ、町で考えている市町村有償旅客運送案に対してやったらよいと思うことの把握
- ワーク③：前回の整理及び②のまとめを踏まえて、実現化に向けた具体策や課題についての把握

◆ グループ分け・参加者情報

班	居住エリア		年齢	性別	仕事	日頃の交通手段	広陵元気号の利用頻度	参加目的
A	真美ヶ丘 広陵西 広陵北	a	70代	男	元技術営業	自家用車	なし	免許返納後の利用を想定
		b	75歳～	男	元会社員	自家用車・電車	なし	免許返納後の利用を想定
		c	60代	男	農家	自家用車	なし	公共交通の利便性向上のため
		d	60代	男	靴下製造	自家用車	ほぼなし	より住みやすい町・産業の発展のため
		E	60代	女	主婦	電車、元気号、車等	月2～3回	元気号（存続希望）に役立ちたい
B	広陵北 広陵西 広陵東	e	75歳～	男	シルバー人材センター	自家用車	なし	将来のため
		f	75歳～	男	元区長	自家用車	年4回	気になったため
		g	60代	女	主婦	自家用車	なし	広陵町のことが知りたい
		h	60代	男	元銀行員	自家用車	なし	広陵町のことが知りたい
		i	80代	女	自営業	広陵元気号	週1～2回	広陵元気号について考えたい

グループワーク①

デマンド交通の先進事例についての感想・意見（良い点・悪い点）



参考にする
具体化する

第1回ワークショップのまとめ	
乗降場所	乗：自宅付近 降：駅、病院、公園、図書館等ニーズの高いところ
乗車時間	15分程度
乗車人数	乗車定員でOK
予約方法	ネット、LINE、電話 1時間前まで予約可にしてほしい
料金	100～200円程度

デマンド交通の先進事例について、良いと思うことを黄色カード、心配等の良くないと思うことを水色のカードに書く

第一段階でのデマンド交通方式に対する理解と具体的な受容性、課題意識の把握

グループワーク②

市町村有償旅客運送案に対してやったらよいと思うこと

やったらよいアイデア

町で考えている市町村有償旅客運送案に対して、第1回ワークショップの結果や先進事例を踏まえて、やったらよいこと（乗りたい・行きたいところ、乗降地点の位置と表示、予約方法）について、ピンクのカードに書く

これまでの検討内容、事例を踏まえて望まれる仕組み等についての把握

心配なことなどのコメントがあれば記載する

グループワーク③

実現化に向けた具体策や課題について

具現化の内容と課題

A. バス停の具体的なあり方や形状等



B. 幹線との接続での待ち時間



C. 幹線で止まってほしい場所



D. 幹線の運行頻度



E. 対象利用者



グループワーク②で実施した「やったらよいアイデア」を踏まえつつ、実現化に向けてアイデアを具現化していく。左図A~Eの項目に関する意見や心配事等を緑色のカードに書く

新たな運行方法による住民の効果的な町内移動の可能性と条件等の把握

グループワークの結果

デマンド交通の先進事例に対する良い点・悪い点等の感想・意見は以下の通りである。

◆ Goodポイント

運行方法	<ul style="list-style-type: none"> • ドアtoドアではなく、乗降地点間の移動でもよい • デマンド型になることで乗降地点が増えるのがよい
運行日	<ul style="list-style-type: none"> • 毎日
運行時間	<ul style="list-style-type: none"> • 8:00~18:00（最終は17:00や19:00の意見もあり）
予約方法	<ul style="list-style-type: none"> • 電話、ウェブ、アプリ、LIEN • 1週間前から1時間前or30分前まで予約できるとよい
料金	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者、障がい者、子ども等への割引があるとよい • 乗り継ぎをする場合の料金割引があるとよい • 都度支払い、回数券、定額で乗り放題等、選択肢があるとよい

◆ Badポイント

予約方法	<ul style="list-style-type: none"> • 病院は終わりの時間が読めないため、帰りの予約がしづらそうで不安がある
------	--

町で考えている市町村有償旅客運送案に対して、第1回ワークショップの結果や先進事例を踏まえて「やったらよいアイデア」は以下の通りである。



乗車地点	<ul style="list-style-type: none"> 自宅周辺
降車地点	<ul style="list-style-type: none"> 病院、スーパー、駅、役場、体育館、ホール、公園
乗降地点の位置	<ul style="list-style-type: none"> 自宅から歩いて3～5分以内 降車地点は、状況に応じて（他の乗客がいない、雨の日、荷物が多い等）柔軟に対応可能にしてほしい。
乗降地点の表示	<ul style="list-style-type: none"> 自分の住んでいるエリアであれば、表示がなくてもわかる 電柱や道路に表示があればよい 乗降地点が表示された地図を紙でも配布してほしい
予約方法	<ul style="list-style-type: none"> 自分が使いたい予約方法 →LINE3名、アプリ2名、電話1名

グループワーク②で実施した「やったらよいアイデア」を踏まえつつ、デマンド交通の実現化に向けて出た具体的なアイデアは以下の通りである。

乗降場所のあり方	<ul style="list-style-type: none"> 表示は道路へのプリントや電柱に目印があればよい 自宅付近の乗車地点の地図を紙でもあればよい
幹線との接続での待ち時間	<ul style="list-style-type: none"> 10分～15分程度（最大20分までの意見あり） 渋滞等で乗り継ぎがうまくいかなかった場合はどうなるのか不安 駅に行くために中央幹線で乗り継ぐのはしょうがないが、他の場所はなるべく乗り継ぎなしでいけるとよい
幹線で止まってほしい場所	<ul style="list-style-type: none"> 国保中央病院まではいかななくてもよいのではないか イズミヤから近鉄高田駅までの間にもう1箇所バス停がほしい
幹線の運行頻度	<ul style="list-style-type: none"> 1時間に1本
その他	<ul style="list-style-type: none"> 税金を使っているので誰でも利用可能にし、高齢者・障がい者・子供等に割引をするなど料金で差をつければよい 高齢者や障がい者も乗り降りしやすいように車両を改造してほしい

デマンド交通の先進事例に対する意見は以下の通りである。参加者からは運行日に関する発言が多くなっていた。

◆ Goodポイント

運行方法	<ul style="list-style-type: none"> 自宅付近に乗降地点が増えれば乗車しやすくなる 目的地まで効率的なルートで行けるようになるのはよい
運行日	<ul style="list-style-type: none"> 毎日（平日と同じように土日祝も乗車できるのは嬉しい）
運行時間	<ul style="list-style-type: none"> 9:00～18:00（平日と土日祝で変えるのはありかも）
予約方法	<ul style="list-style-type: none"> LINE、アプリは乗車したいタイミングぎりぎりまで予約できるのは良い 電話は、乗車したいタイミングの30分前まで予約できるのは良い
料金	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、障がい者、子ども等への割引制度が必要 乗車区間に関係なく、1回〇〇〇円と定額運賃が分かりやすくてよい お得な乗車方法（回数券、定額乗り放題）があるとよい

◆ Badポイント

運行日	<ul style="list-style-type: none"> 土日祝も平日と変わらず運行してほしい
-----	--

事務局で検討している市町村有償旅客運送案に対して、第1回ワークショップの結果や先進事例を踏まえて「やったらよいアイデア」は以下の通りである。



乗りたいところ	<ul style="list-style-type: none"> デマンド交通乗車地点は自宅周辺 幹線乗継地点はスーパーや役場等（乗継の待ち時間をつぶせて、雨除けできる場所が良い） 自宅から最も近い幹線道路沿い
降りたいところ	<ul style="list-style-type: none"> 病院、スーパー、駅、役場、体育館、ホール、公園
乗降地点の位置	<ul style="list-style-type: none"> 自宅付近は自宅から徒歩5分以内 目的地は安全で分かりやすいところ、雨に濡れないところ
乗降地点の表示	<ul style="list-style-type: none"> 自宅付近家はいつも乗車する場所なので、道路にペイントでOK 目的地（病院、スーパー、駅等）では目印となるポールが必要
予約受付	<ul style="list-style-type: none"> LINE、アプリは乗車したいタイミングぎりぎりまで予約したい 電話は、乗車したいタイミングの30分前まで予約したい

グループワーク②で実施した「やったらよいアイデア」を踏まえつつ、デマンド交通の実現化に向けて出た具体的なアイデアは以下の通りである。

乗降場所のあり方	<ul style="list-style-type: none"> • 自宅付近家はいつも乗車する場所なので、道路にペイントでOK • 目的地（病院、スーパー、駅等）では目印となるポールが必要
幹線との接続での待ち時間	<ul style="list-style-type: none"> • 10分以内（乗継する際に、待ち時間が長くなると使わなくなる）
幹線で止まってほしい場所	<ul style="list-style-type: none"> • はしお元気村、広陵町役場、さわやかホール、イズミヤ、的場（自宅から最も近い幹線バス停場所）
幹線の運行頻度	<ul style="list-style-type: none"> • 1時間に1本
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者、障がい者、子どもは割引運賃制度を用意したほうがいい • 乗継地点で待つ必要があるときに、椅子や雨除けの屋根が必要

グループワーク③のまとめ

グループワーク③の各班の意見をまとめると以下の通りである。

	各班の意見		全体まとめ
乗降場所 のあり方	A	<ul style="list-style-type: none"> 表示は道路へのプリントや電柱に目印があればよい 自宅付近の乗車地点の地図を紙でもあればよい 	<ul style="list-style-type: none"> 現行のバス停はなくてもよいが、自宅付近、目的地ごとの乗降地点ニーズに合わせたあり方が必要
	B	<ul style="list-style-type: none"> 自宅付近家はいつも乗車する場所なので、道路にペイントでOK 目的地（病院、スーパー、駅等）では目印となるポールが必要 	
幹線との 接続での 待ち時間	A	<ul style="list-style-type: none"> 10分～15分程度（最大20分までの意見あり） 渋滞等で乗り継ぎがうまくいかなかった場合はどうなるのか不安 駅に行くために中央幹線で乗り継ぐのはしょうがないが、他の場所はなるべく乗り継ぎなしでいけるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> 10分程度 大和高田駅以外には乗継しないで行けるようにしてほしい 乗継がうまくいかなかった際に、目的地までどう行くのか心配
	B	<ul style="list-style-type: none"> 10分以内（乗継する際に、待ち時間が長くなると使わなくなる） 	
幹線で止 まってほし い場所	A	<ul style="list-style-type: none"> 国保中央病院まではいかなくてもよいのではないか イズミヤから近鉄高田駅までの間にもう1箇所バス停がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 幹線バス停留所の見直し、新設を検討してほしい 乗継待ちを想定して時間をつぶせるスーパー等の施設がいい
	B	<ul style="list-style-type: none"> はしお元気村、広陵町役場、さわやかホール、イズミヤ、的場（自宅から最も近い幹線バス停場所） 	
幹線の 運行頻度	A	<ul style="list-style-type: none"> 1時間に1本 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間に1本
	B	<ul style="list-style-type: none"> 1時間に1本 	
その他	A	<ul style="list-style-type: none"> 税金を使っているので誰でも利用可能にし、高齢者・障がい者・子供等に割引をするなど料金で差をつければよい 高齢者や障がい者も乗り降りしやすいように車両を改造してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、障がい者、子どもには割引運賃制度が必要 乗降しやすいようにしてほしい 乗継地点は待ち時間を考慮して椅子や屋根を付けてほしい
	B	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、障がい者、子どもは割引運賃制度を用意したほうがよい 乗継地点で待つ必要があるときに、椅子や雨除けの屋根が必要 	